

千葉県作文コンテスト入選作品

松戸市長賞

「誰もが幸せに過ごせる未来を目指して」

栗ヶ沢中学校 二年 保田 はるな

私はニュースで犯罪事件などを見るたび心が痛くなります。なぜそんな事をしてしまうのだろうと思いつつも、犯罪や非行はテレビの向こう側の世界であり、自分とは関係のないものだと感じていました。しかしある日閲覧板で回ってきた地域の犯罪マップを見てみると、思っていた以上に身近で多くの犯罪が起こっている事に気づかされました。犯罪や非行は悲しい思いをする人が必ず出てきます。悲しい思いをする人が少しでも減らせたらいいなと思い、犯罪や非行について考えてみる事にしました。

犯罪や非行のない地域社会をつくっていくにはどうすればいいか。私は犯罪や非行に手を出してしまうのは、小さな不正行為の積み重ね、ストレスの抱えすぎが原因の一つだと思います。小さな不正行為でも、繰り返し続けば繰り返すほど正しい善悪の判断が出来なくなり、またストレスを抱えず

ぎると、そのストレスを間違った方向に発散してしまう、そう思ったからです。だから私は小さな不正行為を当たり前にしてはいけないという事と、ストレスを軽くするための心の拠り所を常に用意してあげる事が大切だと考えました。

私はよく公園でゴミがいくつもポイ捨てされているのを見かけます。しかし別の日にそこを見てみると、ゴミは一つも落ちていないのです。これは、軽い気持ちでポイ捨てをする人がいる一方で、ゴミを片付けてくれてる人がいる、という事だと思います。私はゴミのポイ捨てを見た時、そんなに深く考えず見て見ぬふりをしていました。ゴミを拾ってくれてる人がいる事を知って、見て見ぬふりをしてしまった自分に後悔しています。

そんな経験から部活で学校周辺のごみ拾いをする時、より一層真剣に取り組むようになりました。そこでもやはり沢山のごみが落ちています。みんなが使う公園や道路でそのような光景が当たり前になってしまっているのが現状なのだと思えて感じました。小さな不正行為から大きな犯罪に発展したケースは少なくありません。一人でも多くの人が正しい行動をする事で、小さな不正行為を当

たり前にしない、そのための取り組みが必要だと思いました。

犯罪や非行をしてしまう人の中には人間関係での葛藤、複雑な家庭環境からの寂しさ、居場所が見つけられないなど、様々なストレスを抱えている人が多くいます。このようなストレスが原因の犯罪や非行は事前に防げるのではないかと私は思いました。なぜなら人の心を動かすことが出来るからです。悩みや孤独感を一人で抱え込んでしまう人にも、手を差し伸べる方法は沢山あります。自分自身、人に話を聞いてもらったり好きな事をしたりすると、気持ちがとても楽になります。人とコミュニケーションをとったり、体をうごかしたり、音楽を聞いたり、心の拠り所は人それぞれです。それぞれの人に合った心の拠り所を用意し、ストレスを軽くする事が出来れば犯罪や非行を減らせるのではないのでしょうか。

私は今回、犯罪や非行について調べ、考えてみて、たくさん事を学ぶことができました。犯罪や非行によって迷惑する人や悲しい思いをする人がいます。黙ってごみを拾ってくれる人がいます。犯罪や非行のない、誰もが幸せに過ごせる未来に

していききたいと強く思いました。小さな力にしかならないかもしれないけど、私自身が行動していけば、そして少しずつでも一人ひとりが犯罪や非行に向き合えば、いつかそんな未来が見えてくると思います。人のために行動して、小さな事に気づいて実行できる、そんな人になれるよう日々努力していききたいです。

